

ご意見	考え方
<p>P.5人口動向の地区ごとの推移 平地区、常盤地区、社地区において人口は安定推移。</p> <p>P.12転入・転出の状況【大北圏域及び県外】 こちらの分析によると、北部→南部への人口移動が見られます。</p> <p>⇒P.5の大町市内の推移と組み合わせて考えると、安曇野・松本への転出を平・常盤・社地区への移動に留まらせることはできないのでしょうか。(宅地造成等がされていないがために、流出しているだけなのでは?)</p>	<p>大北地域における本市の人口動向につきましては、北部地域から流入し、南部地域へと流出している傾向がみられます。</p> <p>また、年齢別の人口の流出状況をみますと20代後半から40代において、近隣地域への流出が多く、これからの要因につきましては、人が移動する機会といわれています「①大学や専門学校への進学」、「②最初の就職」、「③40歳頃の転職・再出発」、「④定年」の4つの機会のうちの③にあたるものと考えております。</p>
<p>「大町市人口ビジョン(素案)」と「大町市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)」の関連性が見えにくいです。人口流出が人口減少の主原因と分析されていますが、人口流出の原因分析が明確ではないように思います。</p> <p>例えば職場が大町市外であっても、居住地が大町市内であれば、大町市の人口を確保することができます。職場を創りだすことはもちろん必要と考えますが、一方で次善策として、私が申し上げたような方策も立てておいたほうが安全だと思えます。【意見1】と関連しますが、平・常盤・社地区で宅地造成のための空き家・空地整理に大町市が一定の協力をすることで、人口流出を食い止め、逆に他地域からの人口流入を実現できそうに思います。</p>	<p>こうしたことから、総合戦略の『&lt;基本目標2&gt;大町らしさを活かして新しい人の流れをつくる』におきまして、定住促進の施策として住宅取得時におけます補助制度として現在も交付しておりますマイホーム取得助成のほか、住居対策といたしまして空き家などの既存ストック活用のための空き家改修助成、他地域への通勤者支援などを位置付けておりますことから、民間の宅地造成などとの連携も図りながら、定住の促進(転出抑制)に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、本市におきましては、定住促進を平成24年度から28年度までを計画期間としております『第4次総合計画後期基本計画の重点プロジェクト』に位置付け、一早く取り組んでいるところであります。</p> <p>今後は、策定いたしました総合戦略に基づき、さらに取り組みを充実させ、少しでも人口減少に歯止めをかけるよう施策を推進してまいります。</p>